

新型コロナウイルス感染症対策について



秋山 幸子 議員

一般質問



大豆生田 春美 議員

子宮頸がんワクチン接種について

質問..新しい生活様式に基づく

3密回避と飲食店を廃業させない支援として、市ホームページでテイクアウトやデリバリーサービスの情報の紹介をさらに充実させる考えがあるか伺います。

答弁..新型コロナウイルス感染症につきましては、今後も適切な対応を取っていかなければならない状況が続いており、市内

の飲食店への支援として、5月

1日には大田原商工会議所が中心となり、大田原商店連盟、観光協会、各商工会等とともに、大田原事業者応援サイト「コロナに負けるな！みんなで応援大田原」が開設され、市内飲食店等が実施しているテイクアウト、デリバリーについての情報が随時追加掲載されております。本市ではこういった情報サイトの

活用を推進し、情報の充実を図

ることが利用者にとって有効かつ効果的との考えから、市ホームページやSNS、「広報おわたわら」等で利用促進を図ってまいりました。今後につきましては、今あるサイトを最大限に活用していくとともに、こういった情報を補完する形で、市独自の情報提供を進めてまいりたいと考えております。

質問..本市の接種率を伺います。

答弁..接種状況は、平成29年度が実人数12人、延べ人数19人、平成30年度が実人数32人、延べ人数68人、令和元年度実人数92人、延べ人数156人です。

質問..接種後、健康被害の報告を受けているか伺います。

答弁..本市では、定期予防接種後の健康被害の報告は、受けていません。

質問..対象者への個別通知を行っていくべきと思いますが、

考えを伺います。

答弁..本市においては、広報やホームページにおいて、定期予防接種として子宮頸がん予防接種をお知らせしています。また、大田原地区医師会長からの子宮頸がんワクチンの個別通知要望書により、令和2年3月に市内

小中学校を通じ小学校6年生か

ら中学校3年生の保護者を対象に情報提供をしています。接種を希望する方には、主治医からの説明を受け、保護者の同意のもと接種をして頂くようお願いしています。今後も予防接種の有効性及び副反応についてお知らせをし、希望する方に接種ができるよう対応をしていきます。